

上田市学校施設長寿命化計画（案）



令和2年11月
長野県上田市

目 次

1 学校施設の長寿命化計画の背景、目的等	
(1) 背景	2
(2) 目的	2
(3) 計画期間	3
(4) 対象施設	3
2 上田市学校施設等長寿命化計画を取り巻く現状と課題	
(1) 人口ビジョン	4
(2) 財政状況	6
(3) 上田市の公共施設の状況（保有する施設の状況等）	9
3 学校施設の目指すべき姿	
(1) 高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備	10
(2) 健康的かつ安全で豊かな施設環境の確保	10
(3) 地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設整備	10
4 学校施設の実態	
(1) 学校施設の運営状況、活用状況等の実態	11
(2) 学校施設の老朽化状況の実態	19
5 学校施設整備の基本的な方針等	
(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針	28
(2) 改修等の基本的な方針	29
(3) 施設改修（改築・長寿命化）に併せて検討する項目	30
6 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	
(1) 改修等の整備水準	32
(2) 維持管理	32
7 長寿命化の実施計画	
(1) 改修等の優先順位付けと実施計画	33
(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	34
8 長寿命化計画の継続的運用方針	
(1) 情報基盤の整備と活用	35
(2) 推進体制等の整備	35
(3) フォローアップ	35

1 学校施設の長寿命化計画の背景、目的等

(1) 背景

上田市の学校施設は、合併前の旧市町村単位規模で整備してきたものを現状のまま引き継ぎ、現在、小学校 25 校、中学校 11 校の合計 36 校を保有しています。

昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の学校施設は、合併後、耐震診断と必要に応じて耐震補強工事を行い、平成 28 年度までに耐震化を完了させましたが、昭和 50 年代以前に建設された学校施設は老朽化が進行しており、順次、大規模改修・改築が必要となっています。

学校施設は、未来を担う子どもたちが集い、生き生きと学び生活する場であるとともに、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場でもあり、災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設です。そのため、学校施設の老朽化対策は、先送りできない重要な課題です。

当市の財政状況は、歳出面では社会福祉関連分野が増加し、歳入面では地方交付税が合併算定替えや生産年齢人口の減少による税収減により、以前にも増して一層厳しい状況となっており、限られた予算の中で効果的な施設整備を行うことが非常に重要です。

このため、今後も学校施設を継続的に維持管理していくためには、人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化も見据えながら、コスト縮減や予算の平準化を行い、計画的に施設整備を進める必要があります。

(2) 目的

国土交通省は、平成 25 年 11 月にインフラ長寿命化基本計画を策定し、国民の安全・安心を確保し、施設の中長期的な維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図る方向性を打ち出しました。これを踏まえ、各省庁は、所管又は管理する施設の維持管理等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにするため、インフラ長寿命化計画（行動計画）を策定しました。

当市においても、これらのインフラ長寿命化基本計画に基づき、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取り組みの方向性を明らかにする計画として、平成 27 年 6 月に「公共施設白書」を、平成 28 年 3 月に「公共施設マネジメント基本方針」を策定し、上田市における公共施設等の総合管理計画を策定しました。

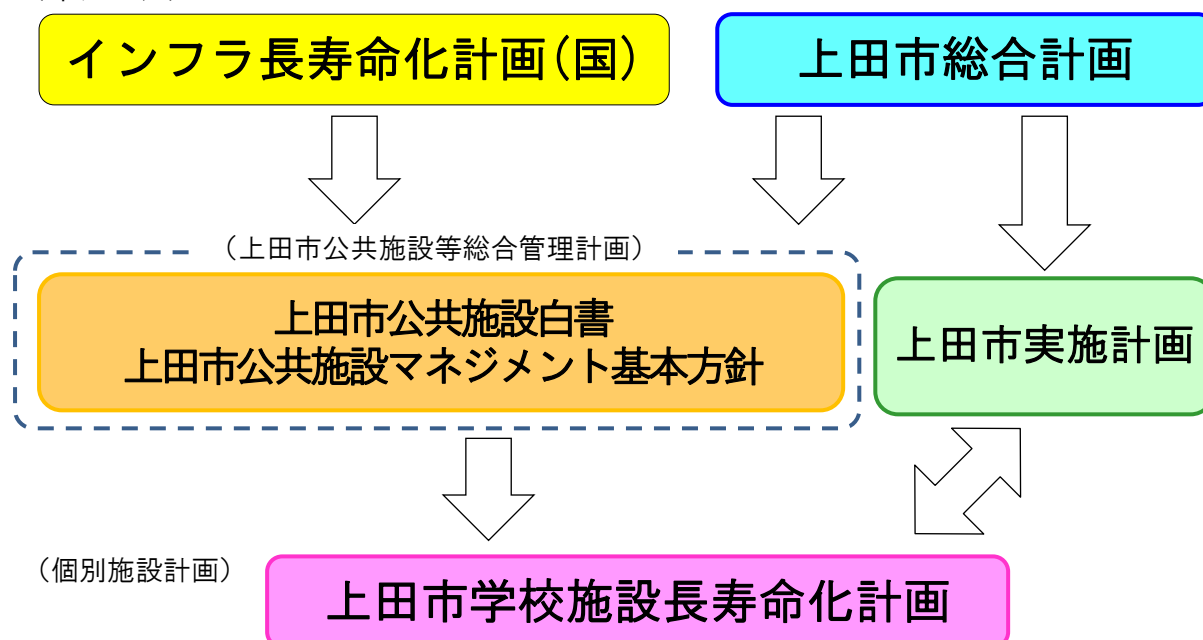
この総合管理計画の策定に基づき、対象施設について、今後予想される改修工事の内容、事業費、スケジュール等を明らかにし、今後の学校施設整備のための基礎資料とすることを目的として、上田市学校施設長寿命化計画（以下「長寿命化計画」という。）を策定しました。

今後は、この長寿命化計画を当市の総合管理計画に基づく学校教育施設の個別施設計画と位置付け、計画的な施設整備に役立てていくこととします。

（参考）計画の位置付け

上田市公共施設白書及び上田市公共施設マネジメント基本方針を上位の計画とし、教育施設等（共同調理場、教職員住宅を含む）を対象に具体的な管理計画として、上田市学校施設長寿命化計画を定めます。

<イメージ>



(3) 計画期間

長寿命化計画は、令和3年度から令和42年度までの40年間の計画とします。

なお、児童生徒数の変化、社会経済情勢、国の補助制度の動向により早急な対応が必要な場合には、随時見直しが可能であることとします。

また、事業実施に当たっては、市の施策の具体的な計画となる実施計画（3箇年計画[毎年見直し]）に位置付けて実施することとします。

(4) 対象施設

本計画における対象施設は、市内の学校・共同調理場・教員住宅のうち、延べ床面積が200㎡以上の建物とします。

学校教育施設	施設数
小学校	25校
中学校	11校

※菅平小中学校は、小学校・中学校それぞれで計上。

学校給食共同調理場	施設数
共同調理場	3施設

その他の施設	施設数
教職員住宅	3施設

2 上田市学校施設長寿命化計画を取り巻く現状と課題

(1) 人口ビジョン

①上田市版人口ビジョン

少子高齢化への対応及び人口減少への歯止めと、人口減少を踏まえた地域社会の維持・活性化に向けた施策を総合的かつ計画的に実施することを目的とした「まち・ひと・しごと創生法」が平成 26 年 11 月に制定されたことを受け、当市においても、上田市版地方創生総合戦略「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定の基礎とすべく、人口の現状や人口変化が将来に与える影響を分析・考察し、目指すべき方向性と人口展望をとりまとめた「上田市版人口ビジョン」（以下「人口ビジョン」という。）を、平成 27 年 10 月に策定しました。

この人口ビジョンでは、当市の将来人口の展望として、一定の施策を講じ、合計特殊出生率（自然動態）と純移動率（社会動態）を改善することにより、国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計と比較して、約 2 万 3 千人の人口減少を抑制することを目指しています。

人口ビジョンに基づく一定の施策を講じなかった場合、令和 42 年度（表中：平成 72 年度）には、当市の人口は平成 27 年度時点と比較して、約 6 万 4 千人、率にして約 41% もの大幅な減少が見込まれ、人口が 9 万人余にまで激減すると推計されています。

上田市の人口推移と長期的な見通し



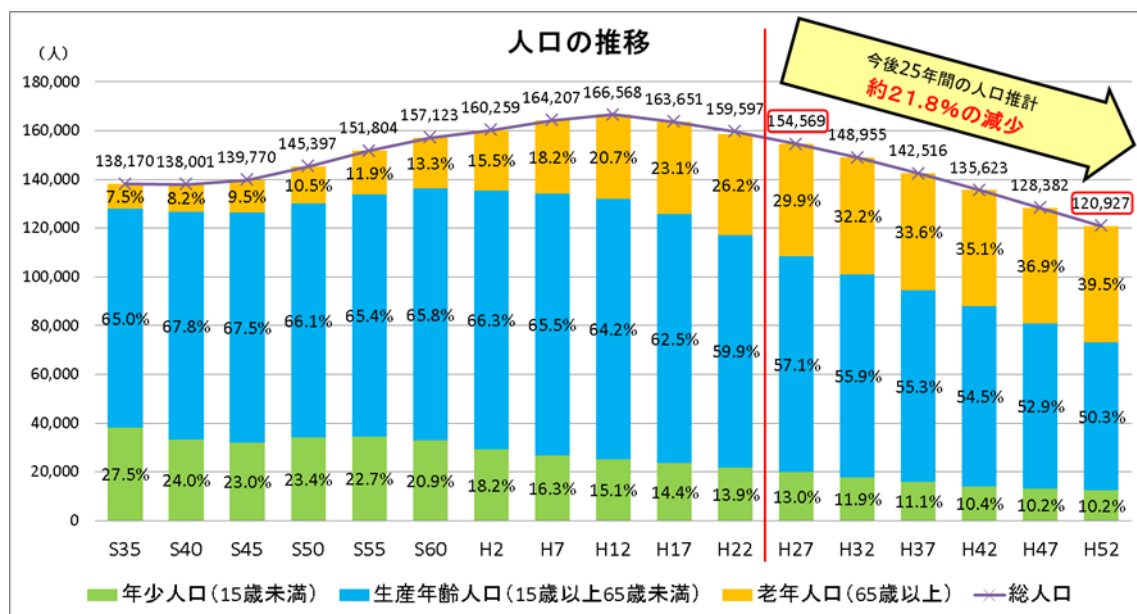
当市では、人口ビジョンの実現に向けて、「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、基本的な考え方として次の5つの基本方針を設定し、取り組んでいくこととしています。

- 1 豊かな暮らしと人生を支える雇用の創出
- 2 若者の結婚・子育ての夢・希望の実現
- 3 人・地域を育てまちの活力を生む学園都市づくり
- 4 住み良いまち・うえだの魅力アップと積極的発信
- 5 安心の暮らしと健康長寿のまちづくり

②年齢構成別の人口推移

過去の国勢調査、及び社人研が公表した「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」によると、当市の人口は平成12年の166,568人をピークに減少に転じており、平成27年度から令和22年度の25年間で、率にして約21.8%、人口にして約33,600人余減少し、約12万人余になると見込まれています。

年齢構成別の人口推移をみると、年少人口（15歳未満人口）と生産年齢人口（15歳以上65歳未満人口）が共に減少する中で、老年人口（65歳以上人口）はほぼ横ばいで推移することから、当市においても人口に占める老年人口が4割を超える、超高齢化社会の到来が確実視されています。



※ 平成22年までの人口は国勢調査の実績値（平成17年以前の人口は合併前の旧4市町村の合計）

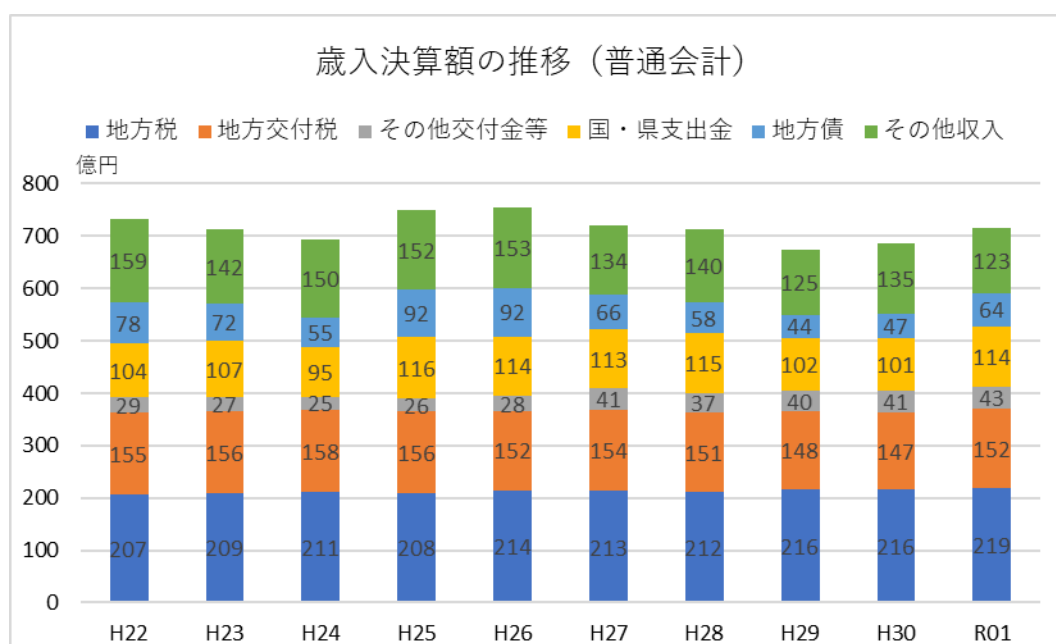
※ 平成27年以降の人口は社人研による推計値（計算過程の端数処理の関係で上田市版人口ビジョンの数値と合致しない箇所がある）

(2) 財政状況

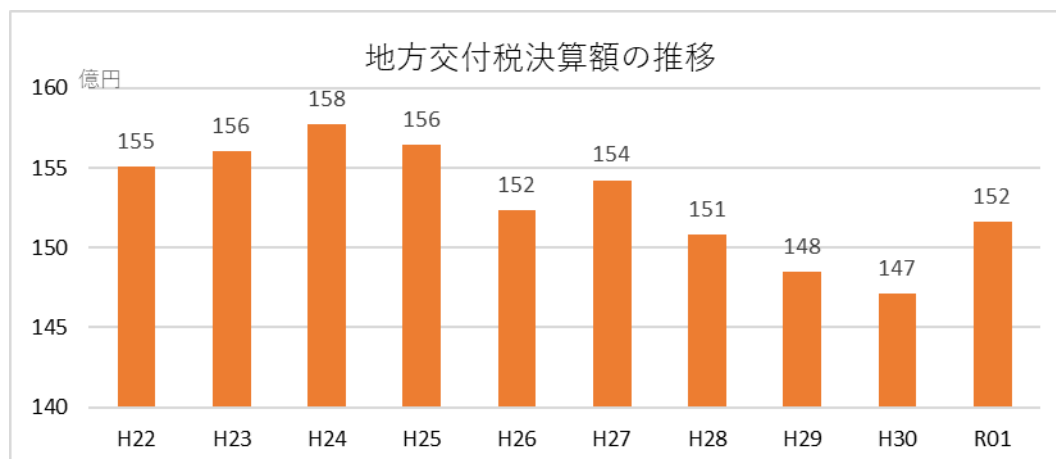
①歳入の推移

当市における平成 22 年度から令和元年度までの 10 年間の財政状況を見ると、緩やかな減少傾向と捉えられます。

地方交付税等は、制度改正により大きく変更することがありますが、現時点では、合併算定替えの終了に伴い減少傾向に転じていること、また、少子高齢化による生産年齢人口の減少に伴う地方税の減少が見込まれることなどから、今後も当市の歳入は減少傾向が避けられないと考えられます。



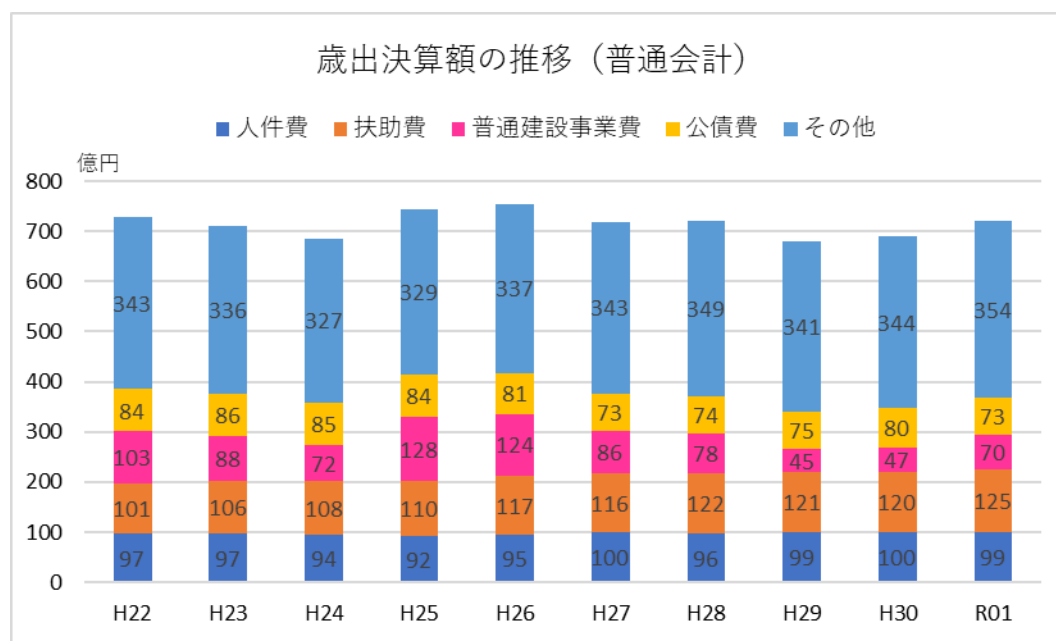
特に注目は



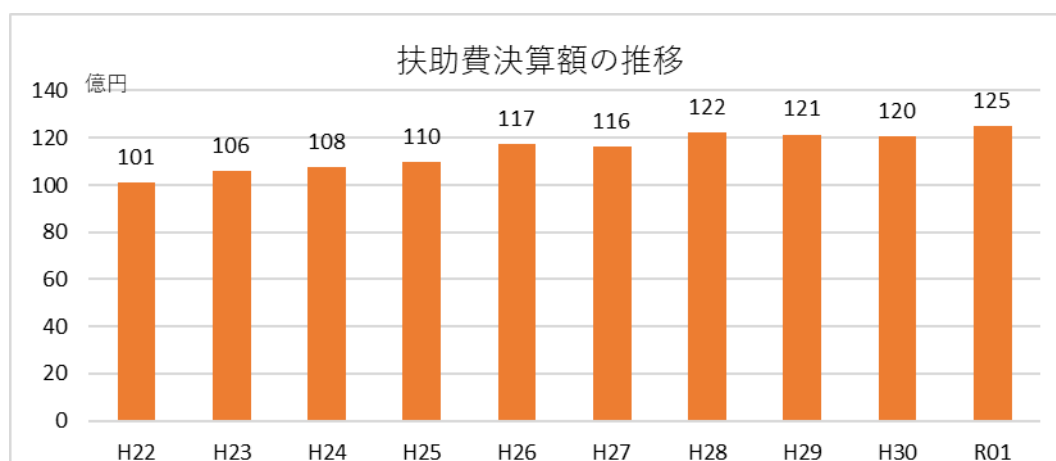
②歳出の推移

当市における平成 22 年度から令和元年度までの 10 年間の財政状況を見ると、歳入同様、緩やかな減少傾向であると捉えられます。

その反面、扶助費についてはこの 10 年で約 23%上昇しており、その影響から、普通建設事業費※が減少しています。



特に注目は

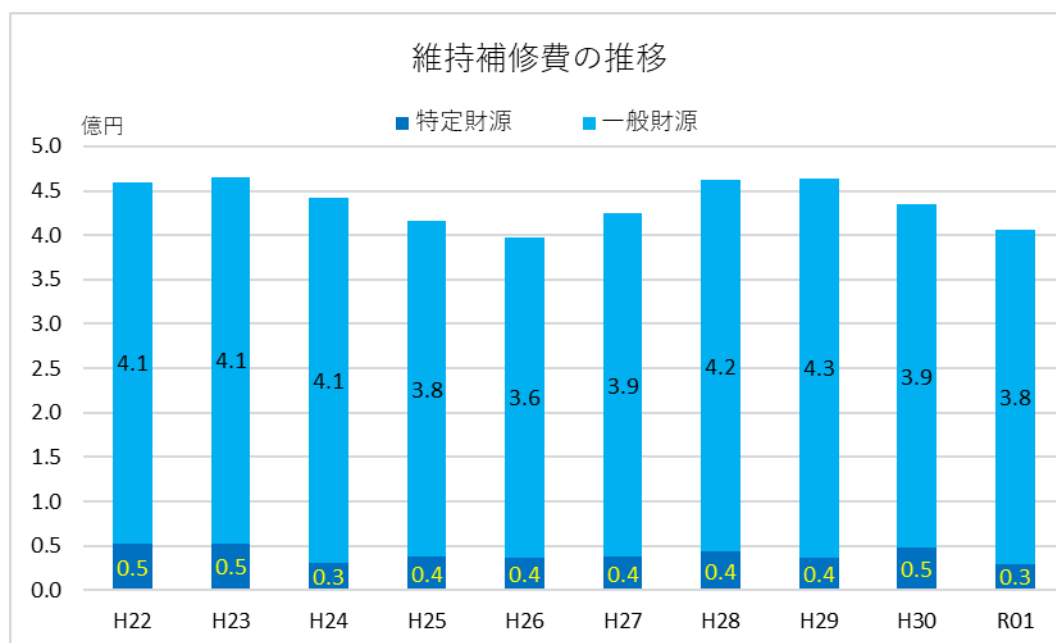


(※) 普通建設事業費：社会資本を形成するための学校・保育園・文化施設などの公共施設や、道路・橋梁などのインフラの建設事業費で、災害復旧事業以外の事業費。

③施設関連経費の推移

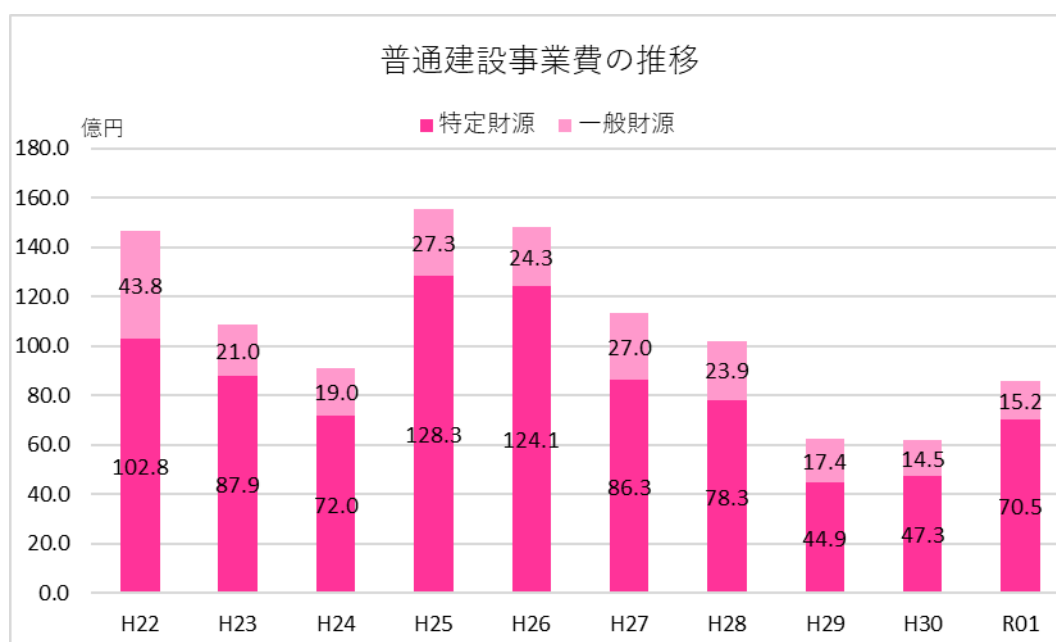
・維持補修費の状況

当市が保有する全ての公共施設の維持管理にかかる経費は、年約４～４．５億円で推移しており、そのほとんどを一般財源で負担しています。



・普通建設事業費の状況

当市の普通建設費の状況は、大型施設の建設事業の実施等により年度間の変動はありますが、一般財源は減少傾向にあり、今後もこの状況は継続することが予想され、市が保有する公共施設の約４割を占める学校施設にも大きな影響を及ぼすことが懸念されます。



(3) 上田市の公共施設の状況（保有する施設の状況等）

①公共施設のストック状況

上田市内の延べ床面積 200 ㎡以上の公共施設の施設数は 396 施設で、建物の棟数は 1,575 棟、延床面積の合計は、約 75 万 5 千㎡（平成 26 年 12 月末日現在）です。この面積は、東京ドームの面積※¹に換算すると約 16 個分、サントミュージゼの敷地面積※²では約 17 個分に相当し、市民 1 人当たり※³では、約 4.7 ㎡／人となっています。

※1 東京ドーム面積：46,755 ㎡

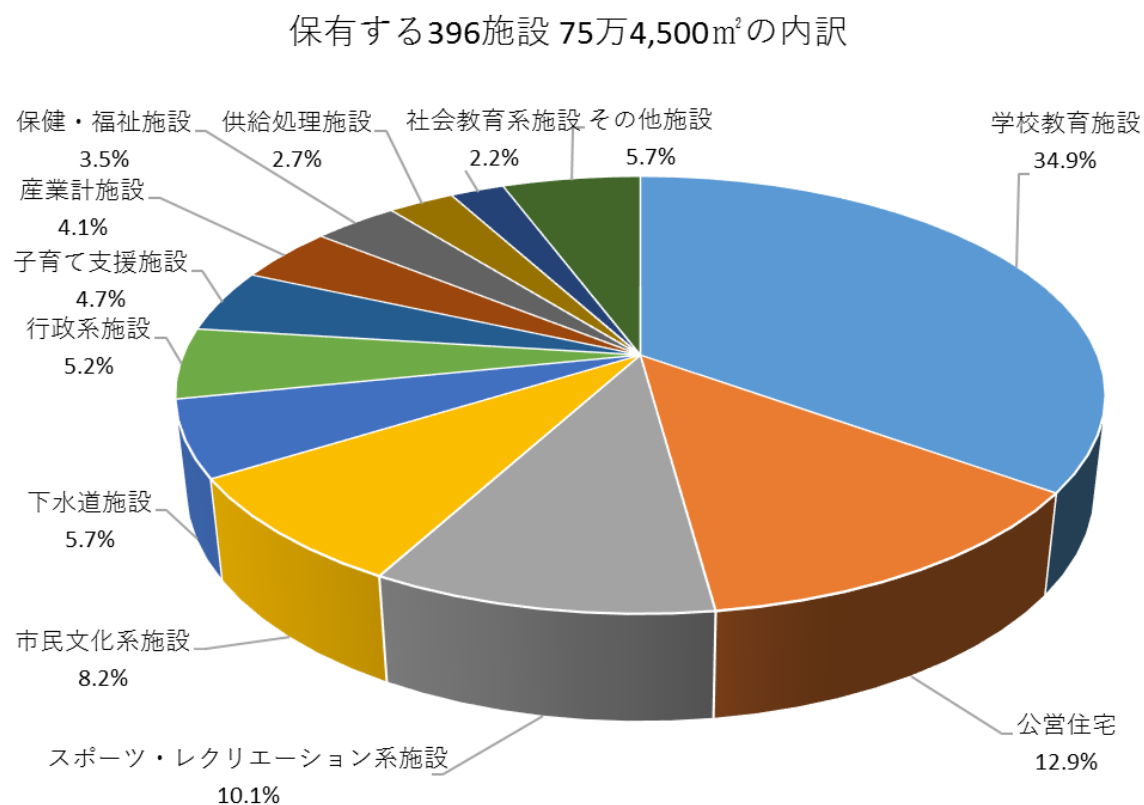
※2 サントミュージゼ（上田市交流文化芸術センター・美術館）敷地面積：45,469 ㎡

※3 市民 1 人当たり算出人口：160,839 人（平成 26 年 4 月 1 日現在）

②施設分類別延床面積

公共施設の利用目的や用途により区分した施設分類別の延床面積を見ると、学校教育系施設が全体の約 35%（263,520 ㎡）を占め、次に公営住宅が約 13%を占めており、この 2 用途で 5 割近くを占めています。また、3 位のスポーツ・レクリエーション系施設を合わせると、全体の 6 割近くを占めています。

公共施設のうち、学校施設が最も多くの面積割合を占めているのは、全国の市区町村に共通する傾向です。



3 学校施設の目指すべき姿

上田市では、上田市公共施設等総合管理計画の内容を踏まえつつ、学習指導要領、上田市教育大綱、並びに上田市教育支援プランに掲げられた施策を実現するため、以下の点に留意しながら施設整備を進めます。

(1) 高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備

教育内容・教育方法等の変化などに対応し、多様な学習内容・学習形態やＩＣＴを日常的に活用できる高機能かつ多機能な学習環境を確保するとともに、今後の学校教育の進展や情報技術の進展等見据えた施設整備を進めます。

(2) 健康的かつ安全で豊かな施設環境の確保

児童生徒の学習・生活の場として、また、教職員の働く場として、日照、採光、通風等に配慮した環境を確保するとともに、障がいのある児童生徒にも配慮しつつ、防災・防犯など安全性を備えた安心感のある施設環境を確保します。

また、児童生徒がゆとりと潤いをもって学校生活を送ることができ、人との関わりの中で豊かな人間性を育むことができる環境を整備します。

さらに、環境負荷の低減や自然との共生にも配慮した施設整備を行います。

(3) 地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設整備

地域住民にとって最も身近な公共施設の一つとして、まちづくりの核、生涯学習、あるいは、放課後児童クラブや他の文教施設・児童福祉施設等との連携強化や、災害時の避難場所（緊急避難場所）としての役割を担う施設として、必要な機能を整備します。

4 施設の実態

(1) 学校施設の運営状況、活用状況等の実態

①対象施設一覧（令和2年5月1日現在）

本市には、小学校 25 校、中学校 11 校の合計 36 校の学校施設があります。小学校全体の延床面積は 142,924 m²、中学校全体は 94,361 m²となり、小・中学校合わせた延床面積は、237,285 m²になります。小学校の 1 校当たり延床面積は、浦里小学校 2,154 m²～神科小学校 8,090 m²となっています。また、中学校の 1 校当たり延床面積は、菅平中学校の 2,355 m²～第一中学校の 14,170 m²となっています。

【小学校】

施設名称	住所	建築年度	延床面積 (m ²)	児童数(人)		学級数(学級)	
				通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援
1 清明小学校	大手二丁目 4 番 41 号	S37	6,026	299	13	12	2
2 東小学校	材木町一丁目 10 番 13 号	S45	6,939	533	23	18	4
3 西小学校	常磐城五丁目 1 番 53 号	S43	6,607	326	32	13	5
4 北小学校	中央北三丁目 1 番 52 号	S47	6,427	427	11	16	2
5 城下小学校	諏訪形 928 番地 2	H15	7,073	415	13	15	3
6 塩尻小学校	上塩尻 219 番地	S48	4,552	172	14	6	3
7 川辺小学校	上田原 367 番地	S43	7,658	506	24	18	3
8 神川小学校	国分 1386 番地	S47	7,009	482	18	18	3
9 神科小学校	住吉 386 番地 1	S43	8,090	692	25	23	4
10 豊殿小学校	芳田 968 番地 1	S50	5,516	200	13	7	2
11 東塩田小学校	古安曾 1113 番地	S52	5,283	223	8	10	2
12 中塩田小学校	中野 93 番地	S47	7,564	512	33	18	5
13 塩田西小学校	山田 476 番地 1	H7	6,378	239	13	11	2
14 浦里小学校	浦野 237 番地	S12	2,154	51	0	6	0
15 川西小学校	仁古田 508 番地	H2	5,757	247	17	12	3
16 南小学校	中之条 485 番地	S58	7,750	636	34	22	5
17 丸子中央小学校	上丸子 824 番地	S46	7,776	404	17	14	3
18 西内小学校	平井 1704 番地	S55	3,567	33	0	4	0
19 丸子北小学校	生田 3556 番地	S49	5,765	326	17	12	3
20 塩川小学校	塩川 1400 番地	S52	4,800	171	11	7	3
21 菅平小学校	菅平高原 1223 番地 1419	S54	2,576	54	0	6	0
22 長小学校	真田町長 4200 番地 3	S55	4,097	121	9	6	2
23 傍陽小学校	真田町傍陽 6035 番地 1	H23	3,415	76	2	6	1
24 本原小学校	真田町本原 2175 番地 1	H29	4,556	203	7	9	2
25 武石小学校	上武石 20 番地	S51	5,589	131	15	6	3
小学校計			142,924	7,479	369	295	65

※延床面積は、対象施設の合計値。

※建築年度は、主要な建物の建築年度を記載。

【中学校】

施設名称	住所	建築年度	延床面積 (㎡)	児童数(人)		学級数(学級)	
				通常 学級	特別 支援	通常 学級	特別 支援
1 第一中学校	国分 200 番地	H11	14,170	499	22	16	4
2 第二中学校	大手一丁目 1 番 45 号	H27	8,031	269	16	9	3
3 第三中学校	中央北三丁目 3 番 62 号	H29	9,395	351	17	12	3
4 第四中学校	諏訪形 1200 番地	S39	10,547	530	28	16	5
5 第五中学校	上野 441 番地	S37	7,151	467	20	15	4
6 塩田中学校	中野 377 番地	H22	10,110	512	41	17	6
7 第六中学校	小泉 21 番地 1	S63	9,017	463	21	14	4
8 丸子中学校	上丸子 1878 番地	H6	7,649	236	9	9	2
9 丸子北中学校	生田 3298 番地	H1	7,390	267	13	9	3
10 菅平中学校	菅平高原 1223 番地 1419	S54	2,355	23	0	3	0
11 真田中学校	真田町長 6326 番地 1	H11	8,546	229	12	8	2
中学校計			94,361	3,845	199	128	36

※延床面積は、対象施設の合計値。

※建築年度は、主要な建物の建築年度を記載。

※武石小児童は、依田窪南部中学校(組合立)に通学。

【共同調理場】

施設名称	住所	建築年度	延床面積 (㎡)	対象児童生徒数(人)	配送先
1 第一学校給食センター	小泉 1-1	S63	1,446	3,255	上田地域の中学校 7 校
2 第二学校給食センター	古里 1913	S55	1,327	5,490	上田地域の小学校 14 校
3 丸子学校給食センター	中丸子 1771-14	H21	1,497	1,504	丸子地域の小中学校 6 校
共同調理場計			4,270	10,249	

【教職員住宅】

施設名称	住所	建築年度	延床面積 (㎡)	戸数
1 菅平教員住宅	菅平高原 1223-170	S46	270	5 戸
2 菅平教員住宅	菅平高原 1223-1378	S40	337	7 戸
3 中之条教員住宅	中之条字観音堂 1203-71	H6	345	6 戸
教職員住宅計			952	

②児童生徒数及び学級数の変化

【小学校】

市立小学校の児童数は、昭和 57 年の 14,981 人をピークに減少に転じ、令和 2 年 5 月 1 日現在で 7,848 人と、ピーク時の 52.4%となっており、令和 42 年時点には 5,418 人、ピーク時の 36.2%と推計されています。

【中学校】

市立中学校の生徒数は、昭和 61 年の 7,548 人をピークに減少に転じ、令和 2 年 5 月 1 日現在 4,044 人と、ピーク時の 53.6%となっており、令和 42 年時点には 2,760 人、ピーク時の 36.6%と推計されています。

<児童生徒数(人)>

	これまでの推移						将来推計		
	1980	1990	2000	2010	2015	2020	2025	2035	2060
	S55	H2	H12	H22	H27	R2	R7	R17	R42
小学校	14,640	11,976	10,011	9,244	8,542	7,848	7,080	5,506	5,418
中学校	6,378	6,795	5,355	4,557	4,330	4,044	4,029	2,840	2,760
合計	21,018	18,771	15,366	13,801	12,872	11,892	11,109	8,346	8,178

※将来推計は「上田市版人口ビジョン(H27 年 10 月策定)」から推計。

<普通学級数(学級)>

	これまでの推移						将来推計		
	1980	1990	2000	2010	2015	2020	2025	2035	2060
	S55	H2	H12	H22	H27	R2	R7	R17	R42
小学校	419	396	356	379	375	360	275	228	234
中学校	174	193	168	152	166	164	133	99	93
合計	593	589	524	531	541	524	408	327	327

※将来推計は、1 学級当たりの児童生徒数の上限を 35 人として推計。

③施設の配置状況

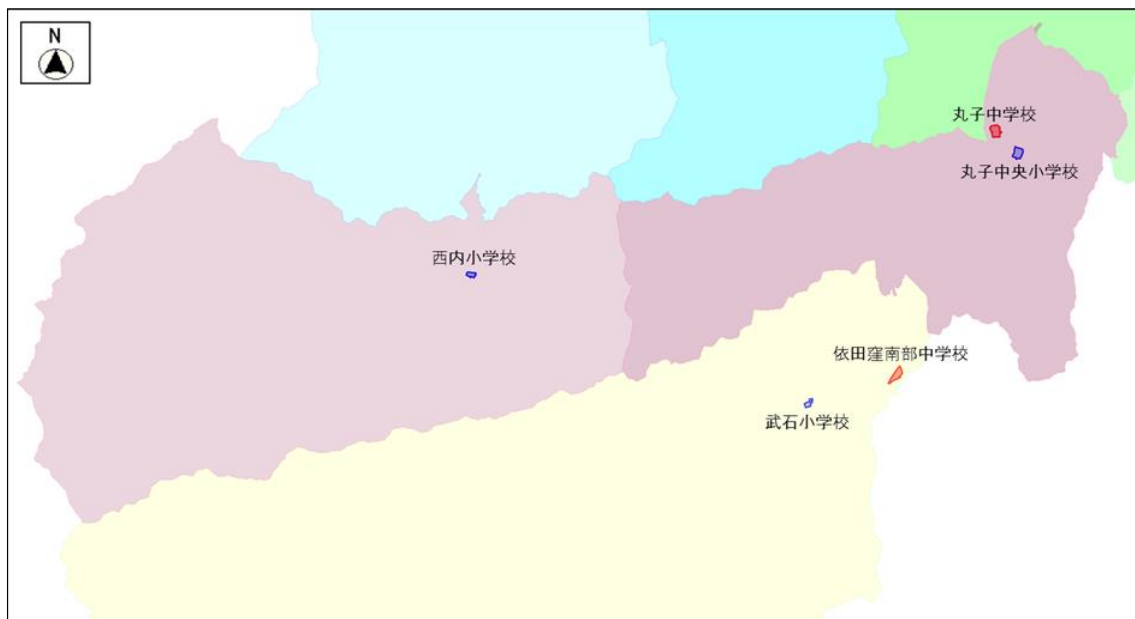
【上田地域右岸地区】



【上田地域左岸地区、丸子北中学校区】



【丸子中学校区、武石地域】



【真田地域】



当市の面積は 550.04k m²と広く、約7割を森林が占めています。地理的に、川沿いや山の沢筋に沿って集落が発展してきた経緯があり、学校施設も広範囲に配置されています。

平成18年の市町村合併後も、各地域には、合併前と同数の小中学校が配置されています。

④施設関連経費の推移

【学校教育施設】

平成 26～30 年度の 5 年間の学校教育施設の施設関連経費は、約 2.8 億～31.4 億円で、
5 年間の平均は約 18.2 億円となっています。（単位：千円）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	5 年平均
施設建設費	2,877,614	2,015,135	2,510,599	222,334	0	1,525,136
その他施設整備費	97,278	109,617	135,373	348,298	226,846	183,482
維持修繕費	163,744	92,909	164,808	63,869	64,441	189,954
施設関連経費計	3,138,636	2,217,661	2,810,780	634,501	291,287	1,818,572

【共同調理場】

平成 26～30 年度の 5 年間の共同調理場の施設関連経費は、約 820 万円～3,060 万円で、
5 年間の平均は約 1,750 万円となっています。（単位：千円）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	5 年平均
施設建設費	0	0	0	0		
その他施設整備費	756	2,996	1,944	0	2,169	1,573
維持修繕費	7,474	14,584	13,200	16,161	28,389	15,961
施設関連経費計	8,230	17,580	15,144	16,161	30,558	17,535

【教職員住宅】

平成 26～30 年度の 5 年間の教職員住宅の施設関連経費は、約 220 万～450 万円で、5
年間の平均は約 340 万円となっています。（単位：千円）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	5 年平均
施設建設費	0	0	0	0	0	0
その他施設整備費	2,592	2,778	1,480	0	2,025	1,775
維持修繕費	1,479	1,742	2,221	2,744	171	1,671
施設関連経費計	4,071	4,520	3,701	2,744	2,196	3,446

上田市の普通建設事業費を取り巻く環境は、人口減少や扶助費等の上昇に加え、公共施設の老朽化による維持修繕費用の増加が見込まれることから、これまで以上に厳しくなることが予想されています。

⑤学校施設等の保有状況

【学校教育施設】

計画対象の学校施設は145棟あり、そのうち築30年以上の建物が84棟を占めています。今後10年間で全体の約4分の3となる74%が老朽化することとなります。

現時点においても、築40年以上の建物が40%以上あることから、今後は、改築と長寿命化を組み合わせた施設整備計画を定める必要があります。

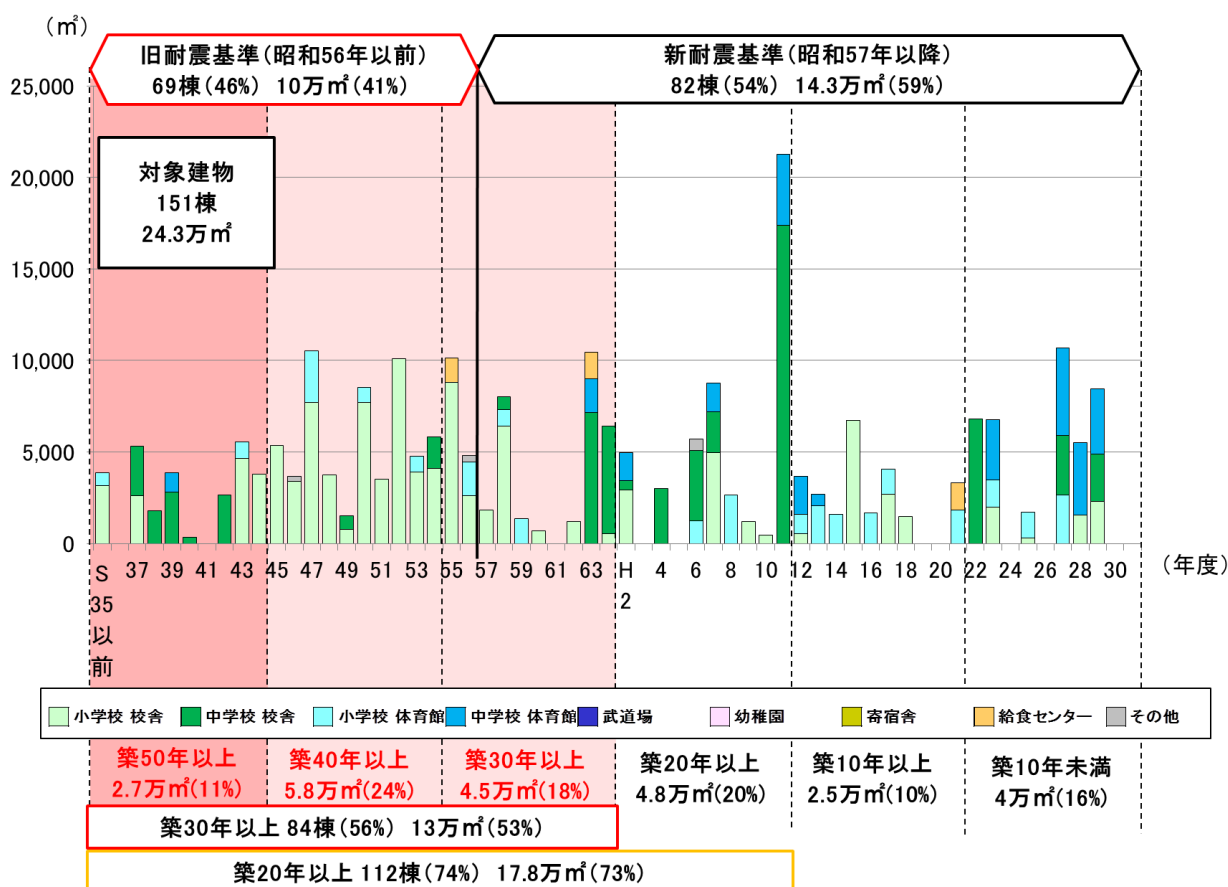
【共同調理場】

計画対象の共同調理場は3施設あり、そのうち2施設が築30年以上となっており、大量の水蒸気及び水を使用する共同調理場という性質上、施設の老朽化が著しいことから、早急に施設改築等の対応を検討する必要があります。

【教職員住宅】

計画対象の教職員住宅は3箇所あり、うち2箇所では築30年以上が経過し、さらに建物の耐用年数を超える建物が1箇所あることから、早急に改築等の検討が必要な状況です。

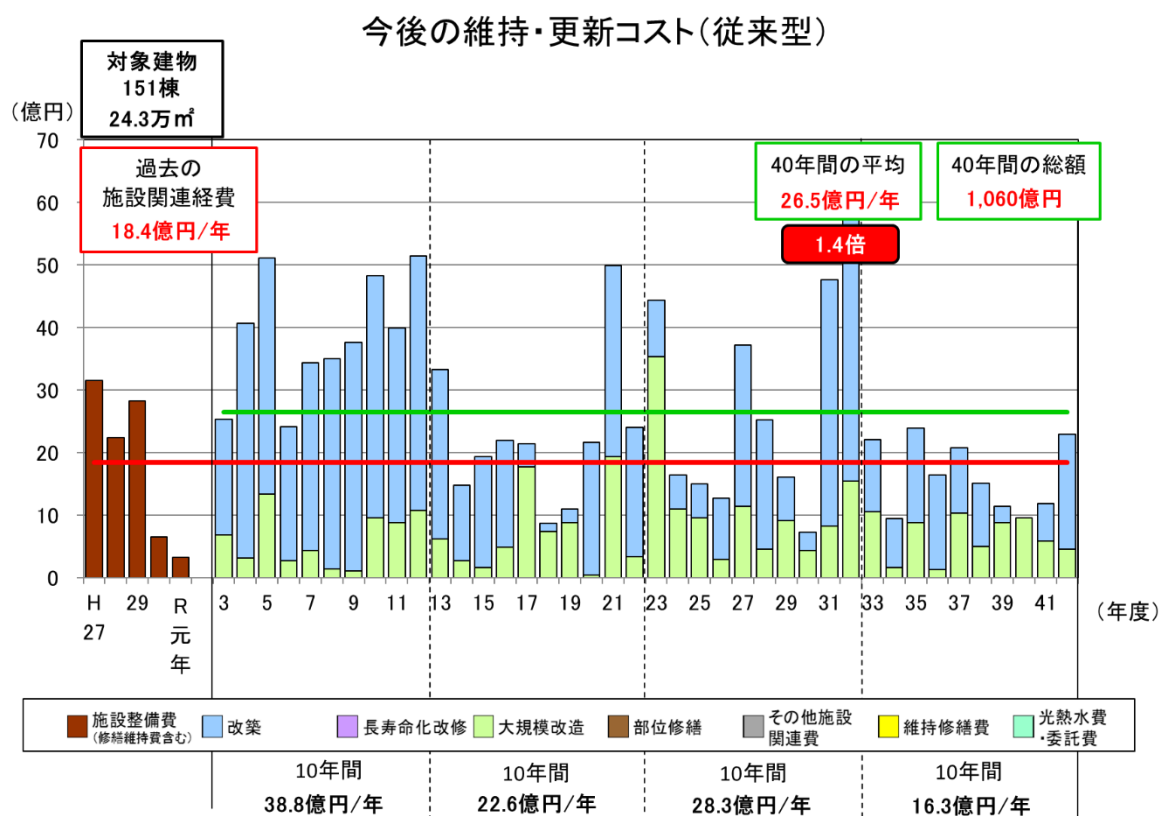
築年別整備状況



⑥今後の維持管理コスト（従来型）

【学校教育施設】

従来の築40～50年で建て替え中心の施設整備を行った場合、学校教育施設、共同調理場、教職員住宅を合わせると、今後40年間のコストは1,060億円（26.5億円/年）となります。これは、直近5年間の投資的経費18.4億円/年（学校教育施設は18.2億円/年）の約1.4倍で、従来の改築を主体とした事業手法の継続は財政的にも困難であり、長寿命化改修を含めた施設整備の手法を検討する必要があります。



コスト試算条件（従来型）

基準年度 2,020 年
試算期間：基準年の翌年度から40年間

改築

更新期間 50 年

工事期間 2 年

実年数より古い建物の改修を10年以内に実施

改築単価 363,000 円/㎡

大規模改造

実施年数 20 年周期

工事期間 1 年

【共同調理場】

共同調理場においては、第一・第二学校給食センターの老朽化により、直近5年間においても、維持管理経費が増加傾向であることから、建物の改築を含めた総合的な検討が必要な状況です。

【教職員住宅】

教職員住宅については、近年、教職員住宅の利用者は減少傾向にあり、順次規模を縮小していますが、へき地等の通勤困難地域などでは、依然として教職員住宅の需要が高い状況であり、既存の建物の維持管理に加え、将来の改築等の検討も必要な状況です。

(2) 学校施設等の老朽化状況の実態

① 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

劣化状況調査表を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁は目視により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価します。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
劣化 D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障して施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価

【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

① 部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

③ 健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするために、コスト配分の合計値で除しています。

※健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを表します。

② 部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

(計算例)

	評価		評価点		配分	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	= 204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	= 800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	= 292
計						3,148
						÷ 60
健全度						52

上田市学校施設等の建物情報一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性			劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積(㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
				学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強						
1	清明小学校	校舎1	1-1, 2, 3	小学校	校舎	RC	3	2, 317	1962	S37	58	旧	済	済	B	B	B	C	C	66
2	清明小学校	校舎2	3	小学校	校舎	W	1	280	1962	S37	58	旧	済	済	D	D	D	D	D	10
3	清明小学校	校舎3	4	小学校	校舎	RC	3	2, 007	1960	S35	60	旧	済	済	B	C	B	C	C	56
4	清明小学校	体育館	24-1, 2	小学校	体育館	RC	2	1, 422	2013	H25	7	新	-	-	A	A	A	A	A	100
5	東小学校	校舎1	13-1, 2	小学校	校舎	RC	3	3, 150	1970	S45	50	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
6	東小学校	校舎2	15	小学校	校舎	RC	2	2, 537	1972	S47	48	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
7	東小学校	体育館	20-1, 2	小学校	体育館	S	1	1, 252	1994	H6	26	新	-	-	B	B	B	B	B	75
8	西小学校	校舎1	1-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1, 989	1969	S44	51	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
9	西小学校	校舎2	10-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1, 794	1968	S43	52	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
10	西小学校	校舎3	14	小学校	校舎	RC	2	1, 229	1980	S55	40	旧	済	済	B	C	C	D	D	35
11	西小学校	体育館	19, 20	小学校	体育館	RC	2	1, 595	2002	H14	18	新	-	-	B	B	B	B	B	75
12	北小学校	体育館	20	小学校	体育館	S	1	991	1972	S47	48	旧	済	済	D	C	C	D	D	30
13	北小学校	校舎2	21, 24	小学校	校舎	RC	2	1, 793	1980	S55	40	旧	済	済	B	B	B	C	C	66
14	北小学校	校舎3	22	小学校	校舎	RC	2	1, 834	1981	S56	39	旧	済	済	B	B	B	D	D	58
15	北小学校	校舎4	23	小学校	校舎	RC	2	1, 809	1982	S57	38	新	-	-	C	B	B	C	C	63
16	城下小学校	体育館	13	小学校	体育館	S	1	894	1968	S43	52	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
17	城下小学校	校舎1	31-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1, 494	2003	H15	17	新	-	-	B	B	B	B	B	75
18	城下小学校	校舎2	32-1, 2, 3, 4	小学校	校舎	RC	2	579	2003	H15	17	新	-	-	B	B	B	B	B	75
19	城下小学校	校舎3	33-1, 2, 3	小学校	校舎	RC	2	1, 137	2003	H15	17	新	-	-	B	B	B	B	B	75
20	城下小学校	校舎4	34-1, 2, 3, 4	小学校	校舎	RC	2	1, 821	2003	H15	17	新	-	-	B	B	B	B	B	75
21	城下小学校	校舎5	35	小学校	校舎	RC	2	1, 148	2003	H15	17	新	-	-	B	B	B	B	B	75
22	塩尻小学校	校舎1	20-1, 2, 3	小学校	校舎	RC	2	1, 769	1973	S48	47	旧	済	済	B	C	C	D	D	35
23	塩尻小学校	校舎2	24-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1, 035	1975	S50	45	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
24	塩尻小学校	校舎3	28	小学校	校舎	RC	2	533	1989	H元	31	新	-	-	B	B	B	B	B	75
25	塩尻小学校	体育館	33	小学校	体育館	RC	2	1, 215	1996	H8	24	新	-	-	B	B	B	B	B	75

上田市学校施設等の建物情報一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性			劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積(㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
				学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強						
26	川辺小学校	校舎1	1	小学校	校舎	RC	2	1,166	1968	S43	52	旧	済	済	A	C	C	D	D	37
27	川辺小学校	校舎2	2-1, 2, 3	小学校	校舎	RC	2	2,217	1970	S45	50	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
28	川辺小学校	校舎3	13-1, 2	小学校	校舎	RC	3	1,997	1973	S48	47	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
29	川辺小学校	校舎4	15	小学校	校舎	RC	2	615	1978	S53	42	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
30	川辺小学校	体育館	21, 22	小学校	体育館	RC	2	1,663	2004	H16	16	新	-	-	A	B	B	B	B	77
31	神川小学校	校舎1	15-1, 2	小学校	校舎	RC	3	1,755	1972	S47	48	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
32	神川小学校	校舎2	16-1, 2	小学校	校舎	RC	3	2,470	1975	S50	45	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
33	神川小学校	校舎3	17	小学校	校舎	RC	2	1,350	1977	S52	43	旧	済	-	C	C	C	D	D	32
34	神川小学校	体育館	23-1, 2, 24	小学校	体育館	RC	2	1,434	2001	H13	19	新	-	-	B	B	B	B	B	75
35	神科小学校	校舎1	1-1, 2, 3	小学校	校舎	RC	2	1,706	1968	S43	52	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
36	神科小学校	校舎2	2-1, 2	小学校	校舎	RC	3	1,808	1969	S44	51	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
37	神科小学校	校舎3	15-1, 2	小学校	校舎	RC	3	1,982	1978	S53	42	旧	済	済	D	C	C	D	D	30
38	神科小学校	校舎4	17	小学校	校舎	RC	2	770	1981	S56	39	旧	済	済	C	C	C	C	C	40
39	神科小学校	体育館	25, 26	小学校	体育館	S	2	1,824	2009	H21	11	新	-	-	A	A	A	B	B	94
40	豊殿小学校	校舎1	13	小学校	校舎	RC	1	450	1975	S50	45	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
41	豊殿小学校	校舎2	14-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1,678	1976	S51	44	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
42	豊殿小学校	校舎3	16-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1,310	1978	S53	42	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
43	豊殿小学校	校舎4	19	小学校	校舎	RC	2	698	1985	S60	35	新	-	-	B	B	B	C	C	66
44	豊殿小学校	体育館	22	小学校	体育館	S	2	1,380	2005	H17	15	新	-	-	B	A	A	B	B	92
45	東塩田小学校	校舎1	19	小学校	校舎	RC	2	1,315	1977	S52	43	旧	済	済	C	C	C	C	C	40
46	東塩田小学校	校舎2	21-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1,440	1979	S54	41	旧	済	済	B	C	C	C	C	43
47	東塩田小学校	校舎3	28	小学校	校舎	RC	2	1,184	1997	H9	23	新	-	-	B	B	B	B	B	75
48	東塩田小学校	体育館	29	小学校	体育館	RC	2	1,344	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100
49	中塩田小学校	体育館	17	小学校	体育館	RC	1	880	1972	S47	48	旧	済	済	B	D	C	C	C	34
50	中塩田小学校	校舎1	19-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1,253	1977	S52	43	旧	済	済	B	C	C	D	D	35

上田市学校施設等の建物情報一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性			劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積(㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
				学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強						
51	中塩田小学校	校舎2	20	小学校	校舎	RC	2	1,269	1979	S54	41	旧	済	済	B	C	C	D	D	35
52	中塩田小学校	校舎3	26	小学校	校舎	RC	2	1,259	2005	H17	15	新	-	-	B	B	B	B	B	75
53	中塩田小学校	校舎4	27	小学校	校舎	RC	2	398	2005	H17	15	新	-	-	B	B	B	B	B	75
54	中塩田小学校	校舎5	28	小学校	校舎	RC	2	1,034	2005	H17	15	新	-	-	B	B	B	B	B	75
55	中塩田小学校	校舎6	29	小学校	校舎	RC	2	1,471	2006	H18	14	新	-	-	B	B	B	B	B	75
56	塩田西小学校	校舎1	1	小学校	校舎	RC	2	2,493	1995	H7	25	新	-	-	B	B	B	B	B	75
57	塩田西小学校	校舎2	2	小学校	校舎	RC	1	1,119	1995	H7	25	新	-	-	B	C	B	B	B	65
58	塩田西小学校	校舎3	3, 4	小学校	校舎	RC	2	1,345	1995	H7	25	新	-	-	C	B	B	B	B	72
59	塩田西小学校	体育館	5, 6	小学校	体育館	RC	2	1,421	1996	H8	24	新	-	-	B	B	B	B	B	75
60	浦里小学校	体育館	5, 11	小学校	体育館	S	2	704	1956	S31	64	旧	済	済	C	B	C	D	D	42
61	浦里小学校	校舎1	6	小学校	校舎	W	2	1,153	1937	S12	83	旧	-	-	B	B	C	D	D	45
62	浦里小学校	校舎2	14, 15	小学校	校舎	S	1	297	2013	H25	7	新	-	-	A	A	A	A	A	100
63	川西小学校	校舎1	15	小学校	校舎	RC	3	2,912	1990	H2	30	新	-	-	B	B	B	B	B	75
64	川西小学校	体育館	18-1, 2	小学校	体育館	S	2	1,298	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100
65	川西小学校	校舎2	19	小学校	校舎	S	2	1,547	2016	H28	4	新	-	-	A	A	A	A	A	100
66	南小学校	校舎1	1	小学校	校舎	RC	3	1,956	1983	S58	37	新	-	-	C	B	B	C	C	63
67	南小学校	校舎2	2	小学校	校舎	RC	3	2,469	1983	S58	37	新	-	-	B	C	B	C	C	56
68	南小学校	校舎3	3	小学校	校舎	RC	3	1,975	1983	S58	37	新	-	-	B	C	B	C	C	56
69	南小学校	体育館	6	小学校	体育館	S	1	1,350	1984	S59	36	新	-	-	C	B	B	C	C	63
70	丸子中央小学校	校舎1	1-1, 2	小学校	校舎	RC	3	3,411	1971	S46	49	旧	済	済	C	C	C	C	C	40
71	丸子中央小学校	校舎2	2	小学校	校舎	RC	2	1,180	1972	S47	48	旧	済	済	B	B	C	C	C	53
72	丸子中央小学校	校舎3	3	小学校	校舎	RC	2	1,436	1972	S47	48	旧	済	済	C	C	C	C	C	40
73	丸子中央小学校	校舎4	4	小学校	校舎	RC	2	583	1972	S47	48	旧	済	済	C	B	C	C	C	50
74	丸子中央小学校	校舎5	5	小学校	校舎	RC	1	217	1972	S47	48	旧	済	済	B	C	C	C	C	43
75	丸子中央小学校	体育館	6	小学校	体育館	S	1	949	1972	S47	48	旧	済	済	C	B	C	C	C	50

上田市学校施設等の建物情報一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性			劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積(㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
				学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強						
76	西内小学校	校舎1	11-1, 2	小学校	校舎	RC	3	2, 335	1980	S55	40	旧	済	済	B	B	B	C	C	66
77	西内小学校	校舎2	13	小学校	校舎	RC	1	390	1980	S55	40	旧	済	済	B	B	B	C	C	66
78	西内小学校	体育館	14	小学校	体育館	S	1	842	1981	S56	39	旧	済	済	B	B	B	C	C	66
79	丸子北小学校	校舎1	1	小学校	校舎	RC	2	766	1974	S49	46	旧	済	済	C	B	C	D	D	42
80	丸子北小学校	校舎2	2	小学校	校舎	RC	2	845	1975	S50	45	旧	済	済	B	C	C	D	D	35
81	丸子北小学校	校舎3	3	小学校	校舎	RC	2	1, 237	1975	S50	45	旧	済	済	B	B	C	D	D	45
82	丸子北小学校	校舎4	4	小学校	校舎	RC	2	633	1975	S50	45	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
83	丸子北小学校	校舎5	5-1, 2	小学校	校舎	RC	2	1, 039	1975	S50	45	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
84	丸子北小学校	体育館	9-1, 2	小学校	体育館	S	1	802	1975	S50	45	旧	済	済	B	C	C	D	D	35
85	丸子北小学校	校舎6	20	小学校	校舎	S	2	443	1998	H10	22	新	-	-	B	B	B	B	B	75
86	塩川小学校	校舎	17-1, 2	小学校	校舎	RC	3	3, 946	1977	S52	43	旧	済	済	C	B	C	D	D	42
87	塩川小学校	体育館	20	小学校	体育館	RC	1	854	1978	S53	42	旧	済	済	B	B	C	D	D	45
88	菅平小学校	校舎1	12	小学校	校舎	RC	2	1, 393	1979	S54	41	旧	済	済	B	C	C	C	C	43
89	菅平小学校	校舎1	25	小学校	校舎	RC	2	553	2000	H12	20	新	-	-	B	B	B	B	B	75
90	菅平小学校	体育館	26	小学校	体育館	RC	2	630	2001	H13	19	新	-	-	B	B	B	B	B	75
91	長小学校	校舎	12, 13	小学校	校舎	RC	3	3, 070	1980	S55	40	旧	済	済	C	B	C	C	C	50
92	長小学校	体育館	14	小学校	体育館	RC	1	1, 027	1981	S56	39	旧	済	済	B	B	C	C	C	53
93	傍陽小学校	体育館	10, 12	小学校	体育館	RC	1	900	1983	S58	37	新	-	-	C	B	C	C	C	50
94	傍陽小学校	校舎1	22	小学校	校舎	RC	2	546	2003	H15	17	新	-	-	A	B	B	B	B	77
95	傍陽小学校	校舎2	29	小学校	校舎	RC	2	1, 969	2011	H23	9	新	-	-	A	A	A	A	A	100
96	本原小学校	校舎1	13, 18	小学校	校舎	RC	2	1, 214	1987	S62	33	新	-	-	B	B	B	B	B	75
97	本原小学校	体育館	20, 21	小学校	体育館	RC	1	1, 045	2000	H12	20	新	-	-	B	B	B	B	B	75
98	本原小学校	校舎2	26	小学校	校舎	S	3	2, 297	2017	H29	3	新	-	-	A	A	A	A	A	100
99	武石小学校	校舎1	11- 1, 2, 3, 4, 5	小学校	校舎	RC	2	1, 842	1976	S51	44	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
100	武石小学校	校舎2	12-1, 2, 3	小学校	校舎	RC	2	1, 679	1977	S52	43	旧	済	済	B	C	C	D	D	35

上田市学校施設等の建物情報一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性			劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積(㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
				学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強						
101	武石小学校	校舎3	13-1, 2, 3, 4	小学校	校舎	RC	1	553	1977	S52	43	旧	-	-	C	C	C	D	D	32
102	武石小学校	体育館	20	小学校	体育館	S	2	1, 515	2011	H23	9	新	-	-	A	B	A	A	A	93
103	第一中学校	校舎1	21	中学校	校舎	RC	2	906	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
104	第一中学校	校舎2	22	中学校	校舎	RC	2	906	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
105	第一中学校	校舎3	23	中学校	校舎	RC	2	906	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
106	第一中学校	校舎4	24	中学校	校舎	RC	3	2, 052	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
107	第一中学校	校舎5	25	中学校	校舎	RC	2	1, 132	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
108	第一中学校	校舎6	26	中学校	校舎	RC	2	1, 091	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
109	第一中学校	校舎7	27	中学校	校舎	RC	1	438	1999	H11	21	新	-	-	B	C	B	B	B	65
110	第一中学校	校舎8	29-1, 2	中学校	校舎	RC	3	2, 610	1999	H11	21	新	-	-	C	B	B	B	B	72
111	第一中学校	校舎9	30	中学校	校舎	RC	3	252	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
112	第一中学校	体育館	31-1, 2, 3, 4	中学校	体育館	RC	3	3, 877	1999	H11	21	新	-	-	B	C	B	B	B	65
113	第二中学校	体育館	18- 1, 2, 3, 4, 5	中学校	体育館	RC	3	4, 752	2015	H27	5	新	-	-	B	A	A	A	A	98
114	第二中学校	校舎1	19	中学校	校舎	RC	3	1, 872	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100
115	第二中学校	校舎2	20	中学校	校舎	RC	3	1, 407	2015	H27	5	新	-	-	A	A	A	A	A	100
116	第三中学校	校舎1	1-1, 2	中学校	校舎	RC	3	2, 650	1967	S42	53	旧	済	済	A	A	B	B	B	84
117	第三中学校	校舎2	24	中学校	校舎	RC	2	604	1999	H11	21	新	-	-	B	B	B	B	B	75
118	第三中学校	体育館	30- 1, 2, 3, 4, 5	中学校	体育館	RC	3	3, 571	2017	H29	3	新	-	-	A	A	A	A	A	100
119	第三中学校	校舎3	31	中学校	校舎	RC	3	2, 343	2017	H29	3	新	-	-	A	A	A	A	A	100
120	第三中学校	校舎4	32	中学校	校舎	RC	3	227	2017	H29	3	新	-	-	A	A	A	A	A	100
121	第四中学校	校舎1	1	中学校	校舎	RC	3	2, 821	1964	S39	56	旧	済	済	C	C	C	D	D	32
122	第四中学校	校舎2	15-1, 2	中学校	校舎	RC	3	765	1974	S49	46	旧	済	済	B	B	C	D	D	45
123	第四中学校	校舎3	29-1, 2	中学校	校舎	RC	3	2, 988	1992	H4	28	新	-	-	B	B	B	B	B	75
124	第四中学校	体育館	36-1, 2, 3, 4	中学校	体育館	RC	3	3, 973	2016	H28	4	新	-	-	A	A	A	A	A	100
125	第五中学校	校舎1	1	中学校	校舎	RC	3	2, 734	1962	S37	58	旧	済	済	C	D	C	D	D	24

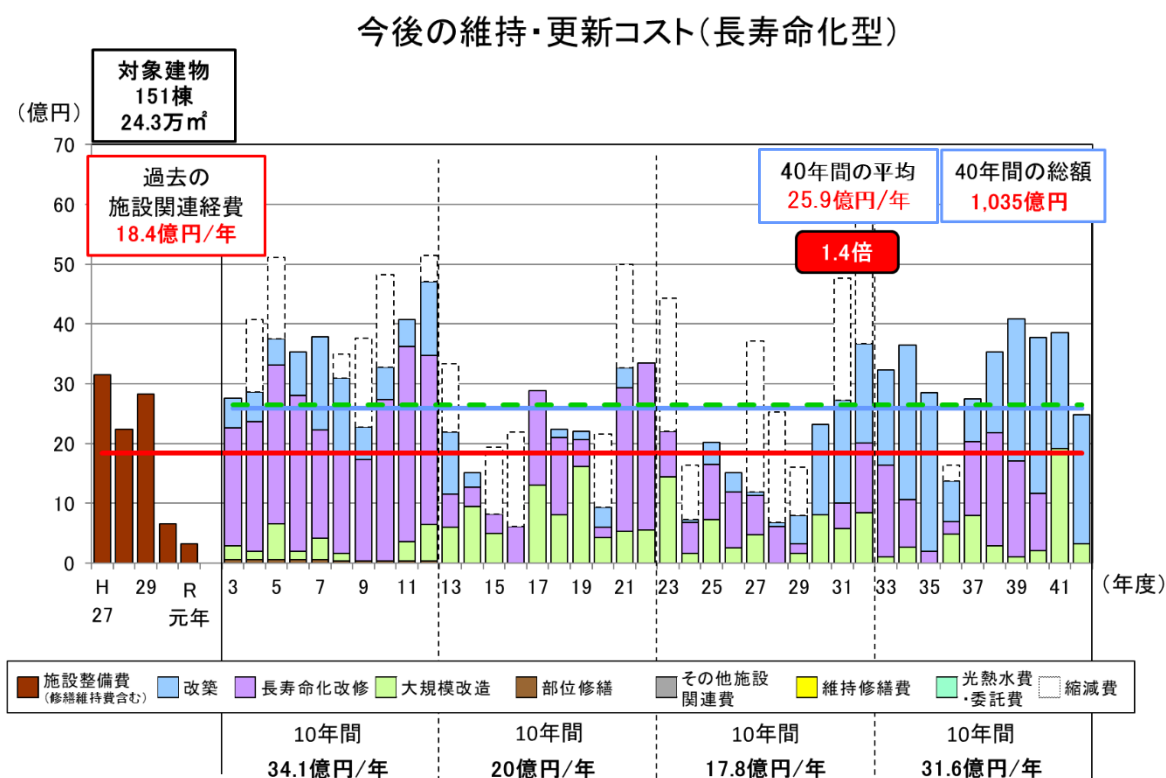
上田市学校施設等の建物情報一覧表

建物基本情報												構造躯体の健全性			劣化状況評価					
通し 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積(㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)
				学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強						
126	第五中学校	校舎2	2	中学校	校舎	RC	2	1,782	1963	S38	57	旧	済	済	C	D	C	D	D	24
127	第五中学校	校舎3	3-1, 2	中学校	校舎	W	1	330	1965	S40	55	旧	済	済	C	D	D	D	D	13
128	第五中学校	体育館	11	中学校	体育館	RC	1	1,055	1964	S39	56	旧	済	済	D	D	C	D	D	21
129	第五中学校	校舎4	15	中学校	校舎	RC	2	710	1983	S58	37	新	-	-	B	B	C	C	C	53
130	第五中学校	校舎5	19	中学校	校舎	RC	2	540	1990	H2	30	新	-	-	B	B	B	B	B	75
131	塩田中学校	校舎1	39-1, 2, 3	中学校	校舎	RC	3	2,566	2010	H22	10	新	-	-	B	A	A	A	A	98
132	塩田中学校	校舎2	41-1, 2	中学校	校舎	RC	3	4,250	2010	H22	10	新	-	-	A	A	A	A	A	100
133	塩田中学校	体育館	45-1, 2, 3, 4	中学校	体育館	RC	3	3,294	2011	H23	9	新	-	-	A	A	A	A	A	100
134	第六中学校	校舎1	1	中学校	校舎	RC	3	2,916	1988	S63	32	新	-	-	B	B	B	C	C	66
135	第六中学校	校舎2	2	中学校	校舎	RC	4	4,256	1988	S63	32	新	-	-	B	B	B	C	C	66
136	第六中学校	体育館	3-1, 2	中学校	体育館	RC	1	1,845	1988	S63	32	新	-	-	C	B	B	C	C	63
137	丸子中学校	校舎1	12	中学校	校舎	RC	3	3,826	1994	H6	26	新	-	-	A	B	B	B	B	77
138	丸子中学校	校舎2	13	中学校	校舎	RC	2	2,233	1995	H7	25	新	-	-	B	B	B	B	B	75
139	丸子中学校	体育館	14-1, 2	中学校	体育館	RC	2	1,590	1995	H7	25	新	-	-	B	B	B	B	B	75
140	丸子北中学校	校舎1	22	中学校	校舎	RC	3	5,874	1989	H元	31	新	-	-	B	B	B	C	C	66
141	丸子北中学校	体育館	23-1, 2	中学校	体育館	RC	2	1,516	1990	H2	30	新	-	-	B	B	B	C	C	66
142	真田中学校	校舎1	24-1, 2, 3, 4	中学校	校舎	RC	3	6,481	1999	H11	21	新	-	-	A	B	B	B	B	77
143	真田中学校	体育館	26-1, 2, 3, 4	中学校	体育館	RC	2	2,065	2000	H12	20	新	-	-	A	B	B	B	B	77
144	菅平中学校	校舎1	11, 13	中学校	校舎	RC	2	1,717	1979	S54	41	旧	済	済	C	C	C	C	C	40
145	菅平中学校	体育館	21	中学校	体育館	RC	2	638	2001	H13	19	新	-	-	B	B	B	B	B	75
146	第一学校給食センター	給食センター	8	給食センター	給食センター	RC	2	1,446	1988	S63	32	新	-	-	D	C	C	C	C	37
147	第二学校給食センター	給食センター	1	給食センター	給食センター	RC	2	1,327	1980	S55	40	旧	-	-	C	D	C	D	D	24
148	丸子学校給食センター	給食センター	5	給食センター	給食センター	S	1	1,497	2009	H21	11	新	-	-	B	B	B	B	B	75
149	菅平教員住宅	教職員住宅		その他	寄宿舍	S	1	270	1971	S46	49	旧	-	-	C	C	C	C	C	40
150	菅平教員住宅	教職員住宅		その他	寄宿舍	S	1	337	1981	S56	39	旧	-	-	C	C	C	C	C	40
151	中之条教員住宅	教職員住宅		その他	寄宿舍	RC	2	635	1994	H6	26	新	-	-	B	B	B	B	B	75

②今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

これまでの建て替え中心の施設整備から長寿命化型改修に切り替えていくためには、計画的に機能の向上・回復に向けた修繕・改修を実施する必要があります。

80 年間の使用を想定した長寿命化を行った場合、今後 40 年間の維持・更新コストは総額約 1,035 億円（25.9 億円/年）となり、従来の建て替え中心の場合の 1,060 億円（26.5 億円/年）より 25 億円（0.6 億円/年）、約 2%の縮減となります。ただし、過去の施設関連経費 18.4 億円に対し、まだ 1.4 倍のコストがかかるため、長寿命化だけでは今後の財政需要に対応できない状況です。



長寿命化改修を実施しても、従来の **1.4 倍** のコストが必要

このため、将来に渡り施設の維持・更新を持続的に行うためには、長寿命化改修だけではなく、児童生徒の減少に応じた施設の集約化等を行い、場合によっては学校の統廃合を併せて実施するなど、施設の維持・更新コスト縮減に向けた検討をさらに行う必要があります。

(参考)

コスト試算条件（長寿命化型）

基準年度 2,020 年

試算期間：基準年の翌年度から40年間

改築

更新期間 <改築、要調査>
50 年

<長寿命>
80 年

工事期間 2 年

実年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

長寿命化改修

改修周期

<長寿命>
40 年

工事期間 2 年

実年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

大規模改造

実施年数 20 年周期

（ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない）

部位改修

D評価： 今後 5 年以内に部位改修を実施

C評価： 今後 10 年以内に部位改修を実施

（ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く）

A評価： 今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

5 学校施設整備の基本的な方針等

(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

①上田市公共施設等総合管理計画における基本方針

【公共施設5原則】

- ・公共施設のあり方を見直し総量の縮減を目指します。
- ・公共施設を適切に維持管理し耐用年数まで大切に使います。
- ・公共施設を整備する際は統廃合などを検討します。
- ・公共施設の集約化とネットワーク化によりコンパクトシティを推進します。
- ・公共施設マネジメントに市民の理解と協力のもとで取り組みます。

【インフラ3原則】

- ・インフラを適切に維持管理し耐震化と長寿命化に努めます。
- ・インフラを更新する際は可能な限りダウンサイジングを目指します。
- ・インフラを含む公共施設マネジメントに市民の理解と協力のもとで取り組みます。

【施設類型ごとの基本方針（学校教育系施設）】

小中学校については、少子化の進展に伴う児童・生徒数の減少を踏まえ、教育委員会において統廃合を含むあり方の検討を慎重に行います。

その他教育施設については、施設所管部署の方針、及び本基本方針に基づき、維持管理や必要な整備等を行います。

②学校施設整備指針（文部科学省）に沿った施設整備

【基本方針】

- ・高機能かつ多機能で変化に対応し得る弾力的な施設環境の整備
- ・健康的かつ安全で豊かな施設環境の整備
- ・地域の生涯学習やまちづくりの核としての施設の整備

上田市の小中学校 36 校のうち、令和2年5月1日現在で小規模校となる学校は 17 校（47.2%）となっており、令和8年度には小規模校が 20 校（55.6%）となると予測されており、見過ごせない課題となっています。

今後の施設整備においては、学校ごとの状況を踏まえた上で、施設に必要な機能を確保しながら、可能な限り集約化・コンパクト化※を図ります。また、長寿命化改修・改築の検討を行う際にも、これらの観点を含めて検討することとします。

※集約化・コンパクト化

児童生徒数の減少等による学級数の減少への対応や、校舎間・教室間の移動距離の短縮を図るため、一定程度のまとまりのある校舎の配置や、校舎の多層階化などを行うこと。

(2) 改修等の基本的な方針

上田市では令和2年5月1日現在、建築後40年以上経過した建物が全体の約4割を占めていることから、今後は、老朽化した建物の改築と併せて、建築後40年未満の建物については、長寿命化改修を基本とした施設整備を行っていく必要があります。

上田市では、学校施設の目標使用年数を概ね80年と定め、施設を長期間適正に使用できるよう、概ね20年ごとに必要な施設改修を行うこととします。

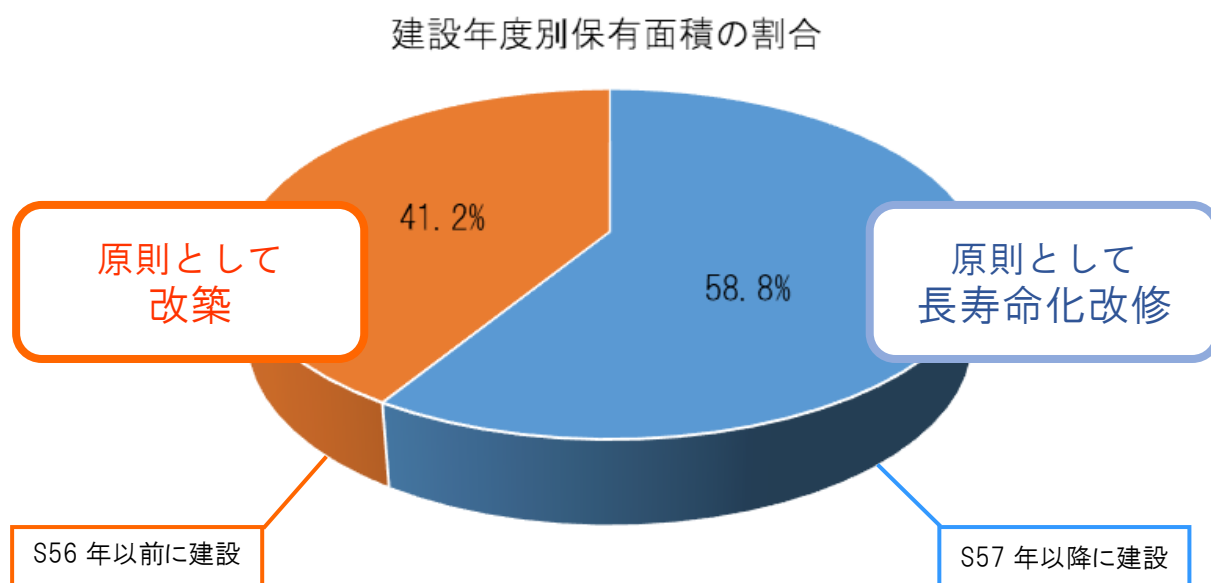
【昭和56年以前に建設された学校施設】

昭和56年以前に建設された建物については、法改正前の建築基準法による耐震基準により建設されています。現在は、耐震改修等により耐震性能は有しているものの、長寿命化改修には、相応の費用がかかることが見込まれるため、改築を基本に進めることとします。

ただし、調査時点で今後概ね30年間の使用を想定した場合でも十分な強度が確認でき、かつ費用面においても安価で改修できる見込みのある建物については、長寿命化改修等、改築以外の手法の採用についても検討します。

【昭和57年以降に建設された学校施設】

昭和57年以降に建設された建物については、現在の耐震基準を満たしていることから、築40年を目処に長寿命化改修を実施することとします。ただし、改修費用が改築費用を上回ると予想される場合等は、改築を行うこととします。



【共同調理場（給食センター）】

共同調理場については、油の使用や水蒸気の発生等、学校施設よりも過酷な使用状況となり、耐用年数も短いことから、建物本体の健全度だけではなく、厨房機器及び衛生設備等を含めた総合的な判断を行い、改築を基本とした整備手法を検討することとします。

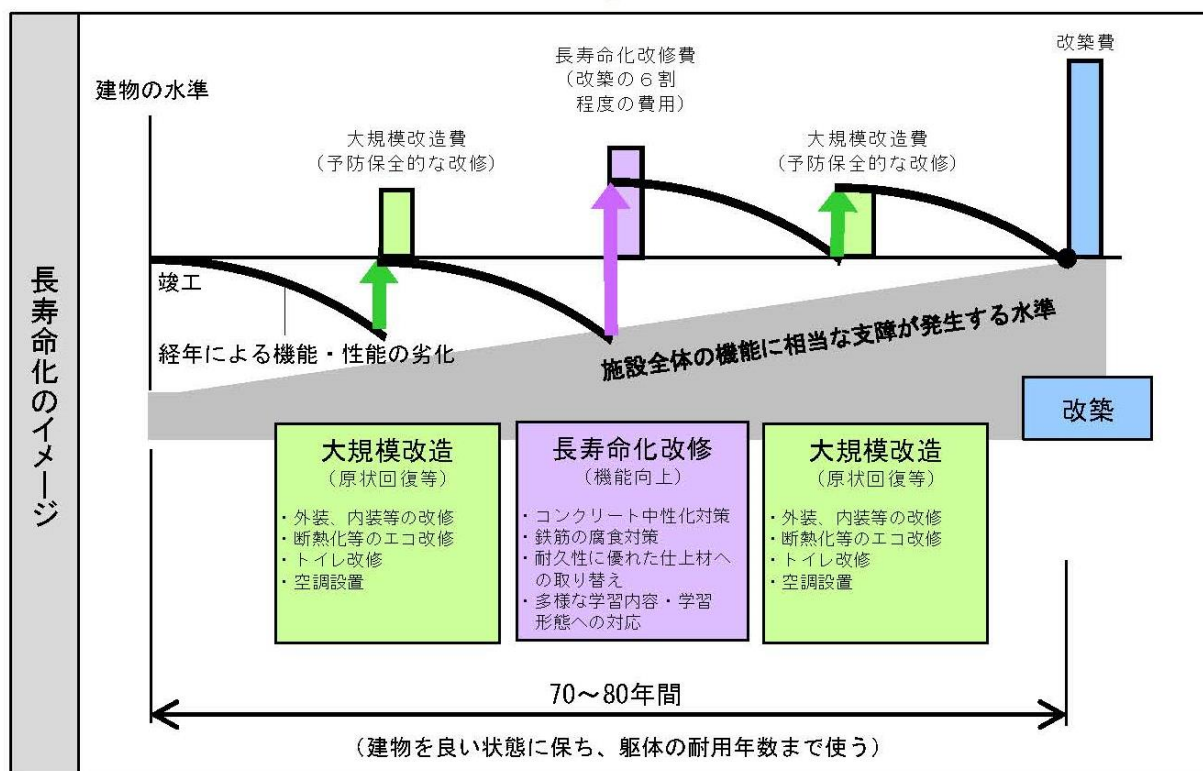
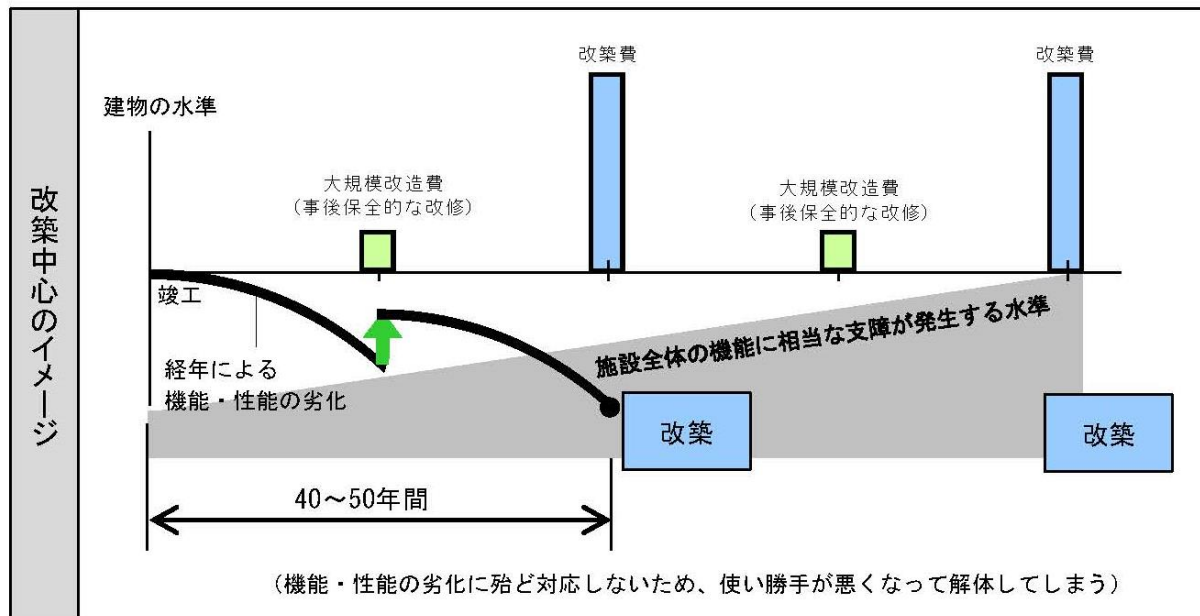
【教職員住宅】

教職員住宅については、民間賃貸住宅の整備状況や、地域特性、将来的な教職員数を考慮し、需要等を見極めた上で集約化を図りながら、必要数を整備することとします。

(3) 施設改修（改築・長寿命化）に併せて検討する項目

将来の児童生徒の減少を考慮し、改築・長寿命化改修を行う際には、上田市公共施設等総合管理計画や、その他関係する計画等に留意しながら、それぞれの学校・施設の状況を判断する中で、必要に応じて他の公共施設の機能の集約・複合化についても検討するなど、施設の有効利用策についても併せて検討することとします。

改築中心から長寿命化への転換イメージ



6 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

(1) 改修等の整備水準

施設整備に当たっては、学校施設整備指針等の趣旨を踏まえ、学習に適した環境を整備するとともに、多様な活動への対応も視野に入れた施設整備を行います。

当面の施設整備に当たっては、学校施設に求められる機能や、将来の施設の維持管理費用の抑制を考慮する中で、整備時点における最適な工法等を採用し、それぞれの地域・学校の状況を踏まえた整備を行います。

なお、学習指導要領、施設整備指針等の見直しが行われる際には、本計画における整備水準についても随時見直しを行うこととします。

【学校施設に求められる機能等】（主なもの）

- ・ 多様な学習内容・学習形態への対応（少人数学習への対応等）
- ・ ICTを日常的に活用できる高機能かつ多機能な学習環境の確保
（校内LAN [WiFi] 整備、プログラミング学習への対応等）
- ・ 日照、採光、通風等に配慮した環境整備（空調機器整備等）
- ・ 障がいのある児童生徒にも配慮施設整備（バリアフリー化、エレベータの設置等）
- ・ 防災・防犯など安全性を備えた安心感のある施設整備
（死角の少ない施設配置、防犯対策等）
- ・ 児童生徒がゆとりと潤いをもって学校生活を送ることができる施設整備
（余裕のある空間確保等）
- ・ 環境負荷の低減や自然との共生に配慮した施設整備
（LED照明、高断熱・高気密化、再生可能エネルギーの活用、木質化等）
- ・ まちづくりの核、生涯学習の場としての施設整備
（地域との連携を考慮したスペースの確保）
- ・ 放課後児童クラブなど、児童福祉施設等との連携
（校地内への児童クラブの併設等）
- ・ 災害時の避難場所（緊急避難場所）としての施設整備
（マンホールトイレ、自家発電設備等）

(2) 維持管理

長寿命化改修を行い80年間の使用を前提とした施設の維持管理においては、これまでの事後保全的整備手法から予防保全的整備手法への転換が必要です。

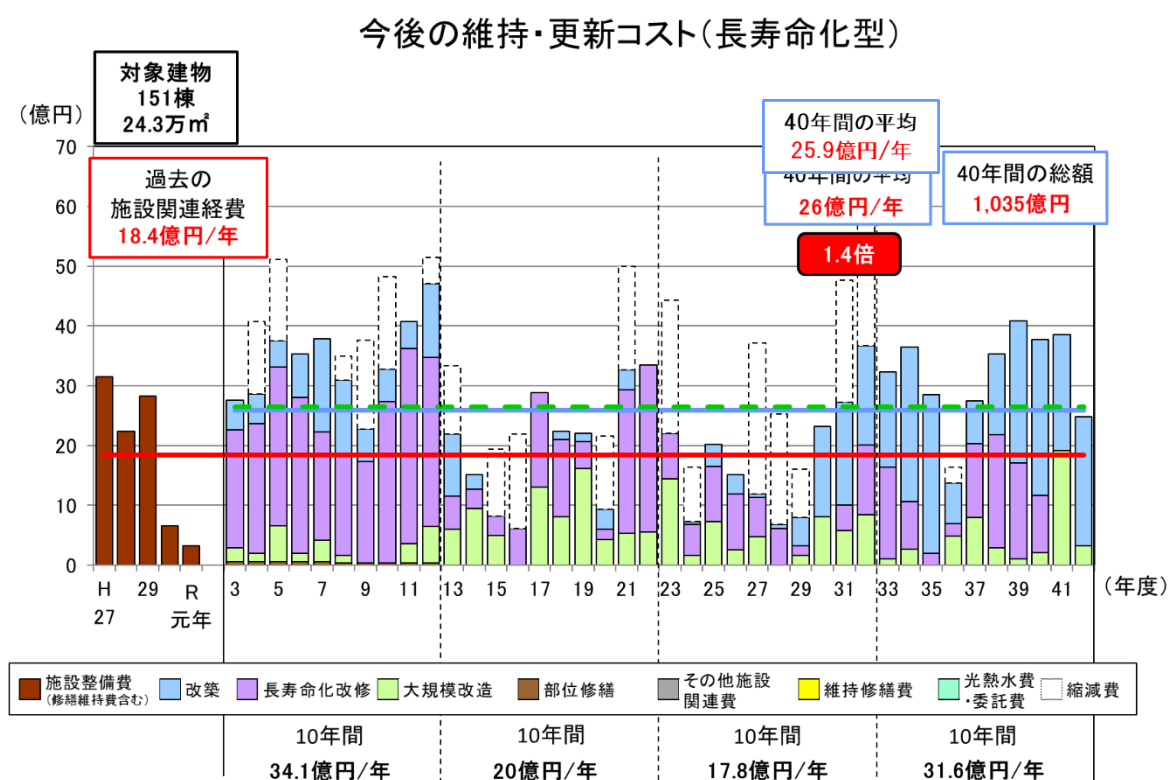
上田市においては、躯体における法定点検のほか、適時、各種設備の点検を行いながら、適正な維持管理に努めます。

7 長寿命化の実施計画

(1) 改修等の優先順位付けと実施計画

上田市においては、耐用年数を迎える学校施設の改築を主体としながら、建築後 40 年を迎える学校施設については長寿命化改修を見据えた施設整備を並行して実施する必要がある、今後は、改築と長寿命化を並行して実施することとします。

事業実施の際は、その都度施設の状態を把握する中で、市が策定する 3 年間の具体的な事業計画である「実施計画」に位置付け、優先度の高いものから順次実施していきます。



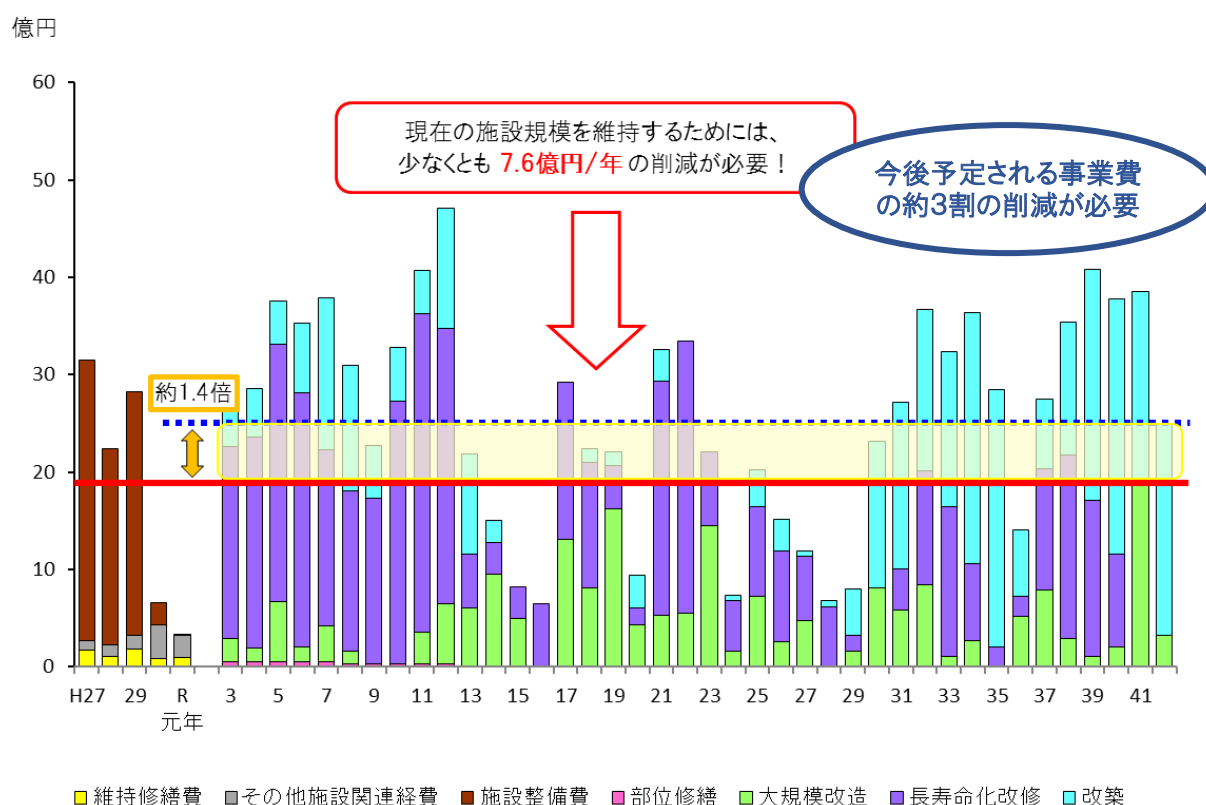
(2) 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

今後の学校施設の維持管理コストは、従来の改築中心から長寿命化型に移行した場合、今後 40 年間で、1,060 億円から 1,035 億円となり、25 億円程度の費用が抑制できるとされ、一定程度、財政支出の抑制・平準化が図れる結果となりました。

しかしながら、年間の施設整備費用は、直近 5 年間の平均 18.4 億円の約 1.4 倍となることから、厳しい財政状況の下、安定した事業効果を発揮することは困難であり、また、児童生徒数が今後減少する中、施設整備費用が増加するという矛盾を抱えることとなります。

仮に、これまでと同水準の施設整備を行うこととした場合、さらに 3 割程度の費用の削減を行うか、施設の保有面積自体を減らすことが必要となります。

こうしたことから、改築・長寿命化改修を行う際には、財源確保は当然のこと、施設の保有状況のあり方や、維持管理コストの削減に加え、学校施設の適正な配置等、総合的な検討を行う中で事業の実施方法を定める必要があります。



8 長寿命化計画の計画的な運用方針

(1) 情報基盤の整備と活用

上田市における、今後の長寿命化改修を含めた施設整備全般を安定的かつ適切に行うため、建築基準法第 12 条に係る法定点検をはじめとする各種法定点検の結果や、学校施設における各種工事履歴・図面等について、学校施設管理システムにデータを蓄積・整理し、一元管理を行います。

(2) 推進体制の整備

本計画の推進に当たっては、上田市教育委員会が主体となって取り組みます。

なお、全市的な調整課題等が生じた際は、必要に応じて、総合管理計画策定担当課、財政部局等と情報共有を行うとともに、随時、本計画にもその内容を反映します。

(3) フォローアップ

本計画は、上田市における学校施設等の改築や長寿命化改修等の施設整備に当たっての優先順位の考え方を示すものであり、具体的な事業スケジュール及び予算については、その都度施設の状態を見極める中で、上田市実施計画の中で年次計画及び事業費を精査します。

また、事業の進捗の状況や、対象施設の状態の変化等、本計画の内容に変更が生じる際は、随時内容の見直しを行います。